

明治廿五年四月

外務省
御署名

出雲丸所安嶋近傍
於難破之件

外務省

大臣
閣下
次官
7/14

庶務課

政務局

通商局

記録課

秘書課

郵船會社入道客

Enomoto
Tokio

出雲丸 wrecked near 新安路
四月四日 摩耶 船 left this
morning to see the conditions,
Hayashi 交際長 試補 was
likely one of the victims
Hayashi

Chernulpa S. 4. 92 8 A.M.
Received S. 4. 92 1. 15 P.M.

電受第 八 一 号

大臣
武揚

次官



Enomoto
Tokio

出雲丸 wrecked near 新安
路 摩耶 船 left this morning
to look after the circumstances
林 交際長 試補 was on
board, details unknown 朝野
新聞 文海 通商 船 船
本 全 羅 觀察使 telegraphic
instructions to rescue.

Kajiyama
Sent S. 4. 92 3. 35 P.M.
Received S. 4. 92 1. 27 P.M.

政務局
通商局
庶務課

電受第 八 一 号

秘書課
田中

廿五年四月十二日

大臣 武揚



政務局 電 奉

秘書課

受領 第八二二一號

文第四二二一號



交際官試補林武一本月三日仁川發、新船三乘組
 相成候知右出雲丸八廿五日午前零時三十分所安集
 近傍に於て遭難沈没致候類成船、廿六日該集近
 海航行、際該遭難に生存せり出雲丸乗組員、生全
 之初より其始末相到り美次第、有之得たり又船長外
 乗組員合テ十二名下等船客一人、所中島、漂着現在相
 認、候得共其他、勿論林交際官試補、生死不明、有
 之其條此取敢御報申進美也

明治二十五年四月八日

長崎港

外務大臣子爵榎本武揚殿



廿五年四月廿八日 閣下 謹受

海 軍

追うる六日獨逸汽船イコゴ号に依り林仁川領事、該遭難
 事件電知此取敢為合中添美也

大臣
閣了

次官



Enomoto,

Sokis.

仁川領事 telegraphed, me
Captain crew one passenger
saved 林交際官試補 very
likely fell a victim cargo
all lost was a man of war
or a steamer sent out for
the recovery of the dead
cargo and lives rescue.

Kajiyama,

Seoul 9. 4. 92 8. 30 A.M.

Received 9. 4. 92 3. 48 P.M.

電受第

八五号

政務局

通商局

會計課



庶務課



大臣
閣了

次官



Enomoto

Sokis

出雲丸 has been wrecked
off 所安岬 at midnight
of 四月四日 豊島丸 has been
there to search and came
back just now. Captain and
eleven ^{of the} crew and only one
steerage passenger saved.
交際官試補 林 was given
up lost.

Nakagawa.

政務局

秘書課



通商局

會計課

庶務課

電受第

八七號

在露公使館發明治廿四年四月廿日午前九時
外務省着明治廿四年四月廿日午後一時分

3-2235

0460

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

明治三十八年四月十八日

第三十八號

受第 5117 號

次官

第 一 門

郵船會社汽船出雲丸次次之件

日本郵船會社汽船出雲丸噸數四百四十六噸
ハ仁川港ニ於テ米穀其他ノ貨物ヲ積込ミ本
月三日午後二時同港出帆當港ヘ向ケ航行中
風波之激動ニ遭ヒ且日午前零時三十分頃
全羅道所安島ヨリ西南ニ當ル暗礁ニ觸レ
僅ニ十二三分ノ後船体左舷前部ヨリ傾キ
直ニ沈没致候

同船ノ乗客ハ上等客交際官試補林武一
海軍大尉関文炳海軍少軍医三宅宅三ノ
三名其外下等客本邦人凡ソ十二名韓人九
名支那人一名ニシテ乗込莫ハ船長以下三十
七名ニ有之候処此際助カリ候者ハ下等客山

在朝鮮國金山港

日本總領事館

口縣民石崎岩三ナル者一名ト船長ニ等機
関師水夫六名火夫三名ニ有之候初汽船
ノ觸礁シ潮水ノ船中ニ湧入スルヤ端船一艘ヲ
却シ之ニ水夫三名ヲ乗セ更ニ左舷一艘ノ
端船ヲ却カンルニ船体ハ既ニ傾キテ其邊
ヲノ乗客中又此端船ニ乗ラシテ左舷ニ
赴キタル者モ遂ニ船体ノ共横ニ入水シタル由
ニ候所シテ前ノ端船ハ水中ニ浮ヘル船員及ヒ
乗客モ名ヲ救上ケ且日午前七時頃所安群
島中東吉島東岸ニ漂着シ夫ヨリ所安島内
俗称日本澳村ニ轉シ山上ニ登リ汽船ヲ通過
スルヲ待受ケ居候処幸ニ六日正午前後帝國

軍艦愛宕ノ前洋ヲ航行スルニ付之ヲ呼止メ
而シテ同艦ハ群島沿岸ヲ少シ搜索ノ上七日午
前八時頃乗客一名三等機関師一名火夫二
名ヲ乗セテ長寄ヘ向ケ出帆候又愛宕艦ヲ殆
ニ同時ニ独ニ汽船インゴノ號ノ通過スルニ逢
ヒ幸ニ同船ハ馬関ニ赴クニ付同船ニ托シテ郵船
會社在馬関支店ニ船難ノ始末ヲ報セシノ候
而シテ同支店ヨリ船難ノ電報七日午後五時ニ
當港ニ到達候ニ付當港支店ハ直ニ豊島丸ノ
元山行ヲ差止メ同船積荷ノ保稅関長ノ承
諾ヲ得テ船難所ニ赴キパシムルニ取計ヒ即チ
七日午後八時出港ハ日午一時所安島北岸
ニ着シ同三時轉シテ日本渾村ノ前面ニ碇繫
シ更ニ近傍ヲ搜索候ハ共船難民ノ漂着セ模
様モ無之且ツ海上風波激シ到底船体沈
没ノ所ニ至ルニ能ハカルヲ以テ九日午前十一時
所安島出帆十日午前八時歸港候
右次第ニテ林交際官試補ノ行衛遊ニ相知
レ不申候モ不日着港ノ數賀丸ヲ更ニ船難
所ニ搜索ノ爲ノ派出セシムル筈ニ付猶ホ報道
可致次第モ可有之候ヘ共林氏ノ事ハ断念スル
ノ外無之様目見エ申候
右報道申進候也

明治廿五年四月十日

在釜山總領事代理

副領事 中川恒次郎

外務次官 林董殿



在朝鮮國釜山港

日本總領事館

明治三十四年四月十九日發

政務局

庶務課

編纂
委員
閣下

次官



第十四
門
N-1

公言才五十一号

受第 五二五七

汽船出雲丸沈没被害視察并救助方軍
艦摩耶出艦通知并沈溺者保護請
求之軍令件

本月三日前前港島に於て山崎少佐邦江
少佐等が郵船會社汽船出雲丸沈没の事を知り
蓋し直ぐ所屬島近海に於て沈没の報を以て
通知し沈溺者保護法市より件を列紙
寫し之より略し主權山公使に申出さるる案に列
紙と差出さるる事と此の旨申進也
明治三十四年四月十九日

在朝鮮國仁川港

在仁川

在朝鮮國仁川港

日本領事館

領事 林権助



外務省官林董殿

京第一四号

漁船出雲丸沈没被害視察船救助ノ為ツ
軍艦摩耶出艦ノ事通知并、沈溺者保護
請求ニ付

昨夜釜山郵船會社より郵船會社電報アリ出
雲丸本月四日（即ち本港出帆ノ翌日）所安島近傍
に於て沈没シ荷物多数自船失シ船中を占ム船長
系乗組員若干ノ外皆沈溺シ豊島丸ハ救助ノ
為メ回航、出帆ストル越中越シ候テ本官ハ出雲丸
後日一日即ち本月四日香港ヲ出帆スル軍艦愛
宕より本官宛ル馬関港ノ本艦所安島近海ニ
テ出雲丸ノ沈没ヲ認ムト電報ヲ接シ、該船今
度所報ノ途ニアル國海軍大尉三宅海軍少軍医
林文隆官試補等乗組居リ且本港在留臣民ノ
父兄子弟等も乗組ニモ有之一切不安ノ念有
之、又シテ本官より大ノ救摩耶船長ニ通知シ
乃モ虞船長ニ直ニ來訪スル救助ノ為メ出艦俄
ラ短減シ乃モ本官より直ニ回航ヲ表シ救助
船ニ付シ候形ニ付、該船ハ馬関港郵船
會社より大ニ減其外西ニ在リ便乗セシ
本朝よりテ出艦致シ候
出雲丸ハ本公外帝國臣民ノ乗客格ニ在リ且
報知シテ大抵沈溺ハ俄トモ多ク其死所之
所安島附近陸地多ク島嶼ハ淺ク漂着スル難
計又或モ乗組員出テ生名ヲ示セテ流着タル向
モ不保無之且船中ノ搭載セル郵便物等も

在朝鮮國仁川港

日本領事館

陸地へ漂着するも、可成り遠くあり、故に沈没し、
閣下より報知致し、度々傳来せし、故に沈没し、近
海岸地方官に、初より傳へ、其保護に、多かる
依頼あり、故に沈没し、度々傳来せし、故に沈没し、
可成り遠くあり、故に沈没し、度々傳来せし、故に沈没し、
明治三十五年四月

在仁川

領事 林 権 助

辦理公使 梶山 鼎 殿

在朝鮮國仁川港

日本領事館

明治三十四年四月十九日發

往復部

公信分五三号

受第 四二五九號

明治三十四年四月

出書凡 任以 者 送 公信 該 船 沈 没 せ し 事 流
失 多 事 難 計 事 該 公信 足 矣 事 出 事 件
本 月 三 日 港 船 出 港 在 任 以 者 送 公信 該 船 沈 没 後
船 所 在 島 邊 海 面 上 沈 没 事 該 公信 失 多 事 難 計
事 該 公信 該 公信 寫 記 通 事 事 出 事 件
明治三十四年四月十九日 在 仁 川

外務大臣 林 董 郎

領事 林 権 助

日付

番 号

摘 要

第 一 門

廿五年四月一日

公信分 四二二号

流 失 事 公 政 決 犯 罪 事 送 公 信 件

廿五年四月一日

公信分 四三三号

裁 判 所 年 表 差 出 事 件

在 朝 鮮 國 仁 川 港

日 本 領 事 館

廿五年四月二日

公信分 四四号

裁 判 所 年 表 差 出 事 件

廿五年四月三日

公信分 四五号

裁 判 所 年 表 差 出 事 件

右

豐年四月十九日

往記
復錄
部課



又策

四二五〇號



UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARIES

卷之八

今日言有出雲丸以テ八重三通

五十四十七

義為孝子者般
茲能授少郵使
物一切

不_レ爲_二越_一之_レ也_ヲ看_レ娘_ハ之_レ才_ハ名_ハ沙_ハ屋_ハ

文宣公集

明倫彙編

箱理學

外種大邑子標本氏揚雄

Seal script characters for 顏 and 嚴.

第十四門

主明洋國日本公使館

次官

大臣
武揚

Enomoto

Sokis

According to further
report just now from
山崎 Seki and Miyake
Imperial Japanese navy
and Hayashi have not
been found among those
saved. Inform 山崎 & 山崎
Hayashi.

Chemulpo 10.4.92 8.50 P.M.
Received 10.4.92 10.50 P.M.

政務局

通商局

會計課

庶務課

秘書課

庶務課

電受第

八九

号

秘書課

Nakada

次官

大臣

Enomoto

Sokis

仁川 頃 5 telegraphed me
豊崎 丸 came back 四月 4
from rescue 林 文 隆 友 武 補
之 定 少 軍 医 閣 海 軍 大 尉
were given ^{up} as lost. Convey
the above to their families
Nagiyama

Seoul 11.4.92 3.50 P.M.
Received 11.4.92 5.45 P.M.

政務局

通商局

會計課

庶務課

秘書課

3-2235

0468

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

大臣

次官

通常

九七

外務

電受第

五五

號

(明治二十五年七月十一日午前七時十五分着)

秘書課

田

庶務課

田

政務局

田

通商局

田

林部一沙波ノ出立ルニ乘リ入リテ
モ漂流人ノ由ニ見エス存命買來ナリ
ト思フ

佐世保

愛宕船長島崎好忠

外務省
外務大臣官房

田中



親展送第 〇七二 號

急

明治廿五年丁巳
同廿五年己月十一日
起草 發遣

秘書課

主任

此等大臣親王友 大臣親王友
中

此等大臣親王友

此等大臣親王友 大臣親王友
大臣親王友 大臣親王友
大臣親王友 大臣親王友

明治廿五年五月六日記録

外務省

編纂
了
委員

急

明治 年 月 日
同 年 月 日
起草
日 發 達

第四三號

主任

明治三十四年四月十一日

林文隆官補
夫人皇子殿

尾山村大正

四月四日郵船會社汽船西雲丸朝鮮國
全羅道新島嶼破船之文隆官
補林氏一氏、該船乗客中一人ナリ、
摩子船并郵船會社汽船豐島丸直、
廿五年四月十九日歸國後接受

外務省

救援ノ為ニ該島ニ其ノ船員水夫共ニ救下等
船名之ヲ救下等ニ林文隆官補開
三宅海軍士官其他ノ生存ノ不分明
ト、該島駐劄山崎使仁川社以テ
釜山中川氏以テ該島ヨリ五日以來歸國
檢査ニ電信機關ヨリテ檢査一
日由由也

甲子

完仰

日本輪船出雲丸日前抵所安島前洋破傷
云未知如何情形速迅飛飭該地方官接
程救護係以所聞之形止速報 該署

在朝鮮國日本公使館

乙

以上事致致之、時々余陽春月日、余漢船出雲丸
 船客、余便移及、故好等々、搭載之、何愧、可々、余、上、白、
 航行、途中、金、道、可安、山、近、信、相、決、決、
 三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、
 便、物、金、物、物、物、物、物、物、物、物、物、物、
 三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、
 人、知、便、物、及、三、物、物、物、物、物、物、物、
 明、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、
 明、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、

物理便旋山自新

刻智齋

在朝鮮國日本公使館

科任金以法詳考ふとて此等事は中
 韓に中より多量買ひ得る所を當り難有
 韓附の生養後降雪後ニテ大開に如く風
 被散衣の欲と臨に平日付金に如く
 黃州平壤より大同江より鎭外外官
 に出す封寄り助浦廻り助浦ニテ貨物
 所より封寄り助浦廻り助浦ニテ貨物
 五志事一車より今一件船額ノ物
 送一船後送中ノ義者より御送
 主より中ノ黃州平壤鎭外封寄り
 少役止泊中或他ノ物より送文を見
 該理衙門を以奉政府ト認見せし向
 在朝鮮國日本公使館
 朝鮮政府も何かと敢て世頃着
 主より中ノ行地凡そ百餘里に數
 入量田とも多量封寄り
 祖土床に臥し赤飯を食一焼酎を飲
 と雨と暑露さして大さおまけ
 大人に井之干他徳先生の所礼者
 義者事より出船市極子に中
 意改修何を法之に賢基より官
 に成旅り一様極は主快以て中
 費基より封寄り一磁針大を申
 助浦より封寄り一磁針大を申
 主より封寄り一磁針大を申
 主より封寄り一磁針大を申

斗一毛最子氏姓
買二一

計一牛

計十太足升
通て磁針 氏と封入改

在朝鮮國日本公使館

明治廿五年四月十九日

政務局
庶務課
[Signature]

會計課

受第 四二三八 號

第十四
一

當社汽船出雲丸本月四日夜朝鮮國全羅道
 所屬所安島近傍ニ於テ沈没ノ處同船ニハ御
 省交際官試補林武一殿御乗込相成候付
 御同人ノ安否ニ関シ報知ヲ得次第可申上旨
 御来意ノ趣拜承仕候右出雲丸ハ本月三日
 午後二時朝鮮國仁川ヲ出帆シ神戸へ帰航中
 四日夜十二時同國南岸所安島近海ニ於テ沈
 没致候處六日午後一時軍艦愛宕ノ通行ニ逢
 ヒ船客石寄岩藏及船長以下乗組員都合十二
 名ハ幸フレテ同艦ノ救助ニ依リ助命致候得共其
 他船客乗組員ノ行衛不相知依テ其際愛宕艦
 ハ現場及近傍島嶼沿岸ノ搜索ヲ為シ其後釜
 山ヨリ汽船豊島丸ヲ差向ケ又仁川ヨリ軍艦摩耶
 ノ探檢アリ又同所ヨリ汽船尾張丸越後丸ノ諸船
 ヲ差立又横濱ヨリ特ニ敷賀丸ニ社員及潜水
 夫ヲ乗組ミ遭難地近傍無限搜索ヲ遂ケ候
 得共同海ハ水深フレテ潮勢強ク潜水器ノ使用
 不相叶船体始メ其他一モ得ル所ナク一昨十六日
 空レク釜山へ相帰リ候趣同船乗組本社特派社
 員ヨリ電報有之候右ノ次第ニテ最早此上搜索
 ノ途モ無之ニ付残念林武一殿ニモ御存命ハ萬
 ヲ無贖束事ト被存候此段御答申上候也
 明治廿五年四月十八日 日本郵船會社社長
 森岡昌純
 外務大臣官房庶務課島村久殿

日本郵船會社

要漢譯

朝鮮國仁川ヨリ釜山下ノ関

政務局

受第 四九三二 號

當社汽船出雲丸朝鮮國仁川ヨリ釜山下ノ関
寄港神戸へ帰航ノ際別紙記載ノ朝鮮人十
名及清國人一名仁川ヨリ乗船ノ慶本船ハ本月
三日午後二時仁川ヲ出帆シ風雨ヲ冒シ釜山ヘ向
ケ航海中五日午前零時三十分朝鮮國全羅道
所屬所安島洋名「シユワト」暗礁ニ乗揚乗組
員一同必死端艇取卸中咄嗟ノ間ニ船体海底
ニ沈没致候此際船客廿九名乗組員三十七名ノ
内船客一名乗組員十一名都合十二名ハ幸フシテ
一隻ノ破艇ニ取付キ僅ニ其命ヲ保テ近傍ノ一島
嶼ニ漂着候得共其他ノ船客乗組員ノ行衛不相
分依テ助命者ハ破艇ヲ繕ヒ更ニ他ノ島嶼ニ渡リ
船艦ノ通航ヲ相待居候折柄六日午後一時軍艦
愛宕ノ通航ヲ見掛ケ其救援ヲ仰キ即チ沈没
ノ現場及近傍島嶼沿岸漂着者ノ搜索ヲ煩シ
候得共更ニ見當ラス同軍艦ニ引續キ汽船豊島
丸ヲ釜山ヨリ又汽船尾張丸ヲ仁川ヨリ又汽船越後
丸ヲ牛莊ヨリ前後遭難地ヘ差向ケ又軍艦摩耶
ノ巡航アリ尚又本月九日横濱ヨリ特ニ汽船敷賀
丸ハ社員及潜水夫ヲ為乗組同所ヘ差立遭難地近
傍無限搜索ヲ遂ケ候得共更ニ漂着ノモノナク且ツ
同海ハ水深ク潮勢急ニシテ潜水器ノ使用不相叶
船体始ノ其他一切見當ラス右ノ次第ニテ最早此上
搜索ノ道モ無之ニ付甚ク残念ノ義ニ候得共右朝
鮮人及清國人ニモ存命ノ程万々無覺束事ト被

日本郵船會社

存誠ニ悲痛ニ不堪候就テハ御手數恐縮ノ至ニ
 御坐候得共前顯ノ次第御者ヨリ本國其筋々一
 可然御通知被成下候様仕度此段奉願上候也
 明治廿五年四月廿二日 日本郵船會社、長
 森岡昌純
 外務大臣子爵榎本武揚殿

日本郵船會社

日本郵船會社

以上十一名

金

次官

九	第十
一	門

公亦曰八德

受第五〇九之號

通商局
政務局

二日庚辰

本月四日當國全羅道所安島沖合ニ
於テ暗礁ニ觸レ沈没シタル郵船會
社汽船出雲丸船長南出疎之ヨリ差
出タル船難証書寫一通御參考マデ
呈進候也

明治二十五年四月廿二日

總領事代理中川
外務次官林董殿

訓領事
印恒

癸丑年五月廿七日記

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

以下、口ツクニ解レ、故ニ放ル。他ノ指揮、ツキ、
 久々、激、中、板、ツ、脱、ニ、為、ニ、飜、キ、何、分、自、由
 ナラ、不、然、レ、氏、船、客、ニ、本、船、付、付、シ、ラ、イ、フ、ア、イ、シ
 際、シ、出、来、得、ル、ヲ、ウ、ノ、手、配、ツ、托、シ、持、ン、内、本、船
 ハ、船、首、ヲ、潮、水、侵、メ、シ、ラ、ル、為、メ、船、首、ノ、方、ニ、傾
 キ、事、リ、全、体、亦、沈、没、ス、ル、ニ、至、リ
 以、時、ノ、凶、シ、ヲ、下、等、船、客、ハ、船、大、高、部、西
 ノ、村、ニ、在、ル、中、ハ、内、石、村、石、屋、我、等、但、ニ
 尋、櫂、風、ニ、シ、本、船、沈、没、シ、船、元、客、也、伊、勢、カ、者
 市、里、三、店、ニ、在、リ、高、果、當、新、美、伊、勢、三、中
 水、吏、客、本、船、送、出、持、持、并、面、明、石、屋、吏、
 本、船、沈、没、ニ、シ、竹、所、尋、シ、助、メ、シ、持、者、等、ハ
 存、シ、シ、カ、船、中、ニ、在、リ、シ、ナ、レ、氏、外、左、ニ、記、載、ノ
 在、朝、鮮、國、金、山、港
 日本、總、領、事、館
 荷、物、郵、便、取、用、所、本、船、是、類、其、他、一、切、沈
 没、船、客、亦、但、ニ、其、生、死、不、分、明、ナ、レ、氏、多、分、ハ
 生、存、ノ、見、出、サ、シ

在朝鮮國金山港

日本總領事館

荷領郵便所用紙本紙是數月他一切枕

後亦家如也 其生於大明十一年

生存ノ足場ニ

自修至山前

荷印馬名

健
故

出府之及任所

父有主の臣也

布 小麦

為三子個

長
乙
子
并
仁

通同
益

銀地紙幣

卷

支那事務全

支那事業改良

帝

卷一

全全

全 全

△	核食
④	華人所

七
個

小倉全

小名全

① 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

卷一百一十五

以衆無所不令

乃

白米

角

五里山

書

今
星

九
王
國

人乙

五
六

[illegible]

[illegible]

一等	全	官川江三
一等	機園	寺村愛之助
二等	全	阿部往三郎
事務員		片山保三郎
全		木下政吉郎
大工		串畝梅吉
水夫		初山五郎
全		中田走吉
全		白家麦吉郎
全		久未融二郎
全		川下吉子
油坊		宮崎重俊
火夫		村上富郎

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

全		五十嵐廣吉
全		藤田友造
全		人見次郎吉
全	又習	森田仙吉
上等十使		三好 某
全		又見部 某
下等十使		三好 某
全		安田 某
全	又習	富沢 某
一等料理人		某
二等全		某
合計		三十二人

是日在釜山出帆之客在船中

大凡武物

改訂

明治五年四月二日
同 年 四 月 二 日

送第

五

號清國今春興

三
七

送

解一書

政略

督

清西康
朝鮮使
各通

外務省

以者車跡啓上水陸了
初船今水陸船少雲北亭

月言三川卷中帆金山卷、而今般行中李月卷朔

外務省

金羅道一所屬所安島近傍、暗礁、棄揚、遂、船休

沈後政升朝東該會北之長森岡昌純乃別攝建之

通 報 告 中 考 試 回 答 船 上 查 出 人 乘 客 店 者

者所來其存矣，經曰：世變事亡，故有

升紫石至殿殿乃西面立此殿得紫石為

[illegible]

海軍省
文書
明治廿五年四月廿七日

明治廿五年四月廿七日譯了

大臣

翻譯局長

小本

次官

第
一
門
N
一

外務省

為照會事。照得郵船公司輪船出雲號。於
本月初三日由朝鮮國仁川開往釜山之際。及
迄初五日早。突遇擱於全羅道所屬所安島
之暗礁。遂致全船沉沒。斯時僅乘該船之貴
國客人。不為難倭生命。至其慘事。頗未另
聞。有該公司信辦。轉同昌化稟報譯文。即附
呈左。右。為此備文。合先照會。
貴大臣。請煩查照。可也。須至照會者。

海軍省

明治廿五年四月廿六日譯了

大臣

翻譯局長 村

次官

謹稟者。竊敝公司輪船。出雲丸。由朝鮮國仁川。經過釜山下關兩埠。回航神戶之際。另單所開之朝鮮人十名。以及中國人一名。便搭該船。於本月初三日下午二點鐘。由仁川開往釜山之時。海上不穩。凌風衝

外務省

兩航行。詎是夜十二點半鐘。及至該國全羅道海面。忽然攔於一安島之暗礁。當經管駕水手人等。趕即竭力。放下舢板。無奈舢身。瞬間沉沒海底。斯時客人二十九名。船員二十七名之中。客人一名。船員十一名。統共十二名者。被著一隻破舢。死裡逃生。漂到該處附近之一島。其餘客人船員。去向不明。惟存生者。修理破舢。再渡別島。眺望舢舨來航。恰如至初六日下午一點鐘。遇有兵艦。受容多駛來。

外務省

就得救援。當即請該兵艦在沈沒處附近
傍島嶼沿岸。搜查尋覓。毫無踪影。更有輪
船豐島尾張起後三隻。由釜山仁川牛莊各口
先後來至。遭難地方。兵艦摩耶等亦駛來巡
視。本月初九日。特飭公員以及潛水人。乘坐敷
賀輪船。由橫濱開赴沈沒之處。遍行找尋。並
不見屍具貨物漂流者。且該島一帶。海水甚深。而
潮流頗急。最難使用潛水器械。是以不能探得
本船及一切物件也。稽查情況。業已如此。無由
設法搜出。遺憾之至。卑職伏查。另開中朝兩
國客入。萬難保生命。殊堪悲慘悼惜。仰希由
貴衙門。將前開情事。照會 中朝兩國衙署。知
照。為此稟請

貴大臣爵前。伏乞
察覆。
日本郵船公司總辦森岡謹稟。

明治廿五年四月二十二日



光緒十八年四月二十九日

政務局



井

光緒十八年六月廿一日記錄課接受

受第

冊

大清欽差出使日本國大臣李

為

照覆事照得光緒十八年四月初一日准

貴大臣照開郵船公司出雲丸輪船由朝鮮

仁川開往釜山之際在安島觸礁沉沒內有

敝國乘船客人難保生命等因並另開該公

司總辦稟報失事顛末譯文前來輪船觸礁

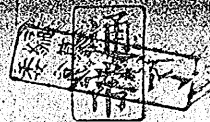
中途沈沒三國人民並及於難本大臣接閱

之餘曷勝歎悼除照會駐紮朝鮮袁總辦轉

飭仁川領事官知照外相應備文照覆

貴大臣請煩查照可也須至照覆者

第十四門



右

照

覆

大日本外務大臣子爵榎本武揚閣下

光緒

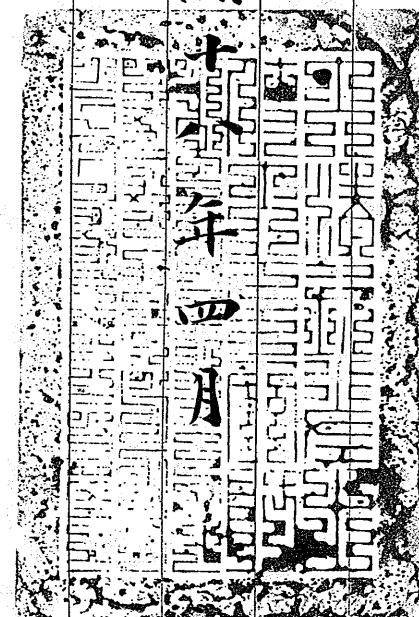
十年

四月

初

三

日



使字第八十一號

年六月二日
政務局
附
封
印

大居武揚
以友

第十四門
N-1

發第ニ拾八

受第ニ拾一〇號

出雲丸沈没付秘西陛下ニ救恤金下賜付
先般出雲丸沈没し全羅南道島附近ノ暗礁ニ擱觸シ
沈没候際常小人於焉モ悲慘ノ死ヲ遂ケル儀ハ
己ニ以承知ノ事ニテ有之候然レ其ノ中ニ四名ハ宮城
在任ノモノニ有之候處其ノ遺族セテ於此頃我西
陛下ニ救恤金三萬圓ヲ下賜お慰ム旨傳承候所
モ當恩ノ優渥ナル感銘ヲ事系ニ此說民間傳
達シカリ我聖意慈仁氏ヲ愛シテ殊域ニ及スナ
ト福賛候ハ枝ニ該船沈没ノ歎ム小人於焉ノ
使乗者中一名ノ助命者方リガ由今我沈没ノ位
所上妙ウモ感懐シ起スナハ然ル杞憂ノ事極
有之候處我西陛下ニ下賜金トモニ京城修屋
費本邦人等幸先ニ義捐金ヲ募集シタル如キ孰モ
大ニ人心ヲ慰解シ先ツ今日迄ノ要格刻ノ影ニ首
及サレバト候存候
此等々枝々候也

在朝鮮國日本公使館

在皇威

明治三十四年五月廿四日 朝鮮公使 樺山資紀

外務大臣 榎本武揚殿

公信第七五号

第六三一節

本雲丸書
難者ハ御下賜
成ハ免御赦
恤金我々

村

去月晉為國以所請之狀破此何事知所社風如毫
九乘負五千餘名，曹廷者造強之數，今服

西陲下馬金三百兩，
浙省4徑金兩。下賜
於金銀起官起。

多取此時修治之
強破之付人棄り地
表正リ向ふ焉

モ之ノ間者均ニ、酸鼻无所、
 亦ハモ、漢名其爲

[illegible]

一智貴米、或々無へ成、免へかゝん

易知錄卷之四

[illegible]

西條氏家系

在朝鮮國三川巷
日本領事館

ラズル
草食

切下易以爲經易以爲人易也

凡一重、二重、三重、四重、五重、六重、七重、八重、九重、十重、十一重、十二重、十三重、十四重、十五重、十六重、十七重、十八重、十九重、二十重、二十一重、二十二重、二十三重、二十四重、二十五重、二十六重、二十七重、二十八重、二十九重、三十重、三十一重、三十二重、三十三重、三十四重、三十五重、三十六重、三十七重、三十八重、三十九重、四十重、四十一重、四十二重、四十三重、四十四重、四十五重、四十六重、四十七重、四十八重、四十九重、五十重、五十一重、五十二重、五十三重、五十四重、五十五重、五十六重、五十七重、五十八重、五十九重、六十重、六十一重、六十二重、六十三重、六十四重、六十五重、六十六重、六十七重、六十八重、六十九重、七十重、七十一重、七十二重、七十三重、七十四重、七十五重、七十六重、七十七重、七十八重、七十九重、八十重、八十一重、八十二重、八十三重、八十四重、八十五重、八十六重、八十七重、八十八重、八十九重、九十重、九十一重、九十二重、九十三重、九十四重、九十五重、九十六重、九十七重、九十八重、九十九重、一百重。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

西堂下、油燈を点て、油燈の光を照らす。油燈の光を照らす。油燈の光を照らす。

成に
た
付
之
才
者
に
於
て
其
の
長
所
を
日
々
修
め
る
事
を
期
す

在少頃刻之間一智聖恩之沐浴之中我之存

萬壽金歌 已忘多陽 今平回外 傳回西武

係父分弟位、是日有命何探取中表及何理承

竹

和中華文

江蘇五年一覽

卷之九

卷之六

品子ノ子ノ子ノ子

[Faint handwritten notes and scribbles]

100

開了

第十門

二十五年六月十日

明治廿五年六月九日起草
同、年八月十日發遣

大臣

陸軍

陸軍

主任

海軍

第一三

外務省友 村 甚

領事代理 駐在 石 坂

出立 凡 費 難 免 市 賜 助 金

主 故 恤 金 之 付 金 金 金

外務省

日本郵船会社 津 船 出 立 金 凡 乘 員

五十餘名 遭 難 者 送 還 金 凡 乘 員

キ

函 達 金 凡 乘 員 市 故 恤 金 出 立

市 故 恤 金 出 立 金 凡 乘 員 遭 難 者

市 故 恤 金 出 立 金 凡 乘 員 遭 難 者

市 故 恤 金 出 立 金 凡 乘 員 遭 難 者

市 故 恤 金 出 立 金 凡 乘 員 遭 難 者

16

三月廿二日
社以液丸丸其
中府分兩方
於之好目在
因心社三
撫堂主汁海
分可改此
為面冬戶進

外孫省

昔五年六月十五日

廢務課

警第九四號

第七三五番

縣下天津郡仙崎通村大字瀬戸崎居住
 藤井傳次郎外四名が客月三十日漢葉ノ
 際同浦小字青海島ノ裏ニ當ル海岸ヲ隔
 テル元拾四五里沖合ニ於テ洋服ヲ着シ居
 ル男子ノ死体漂流シ居ルヲ見當リ之ヲ船
 積ミ歸リ青海島裏ノ海岸ニ埋藏シタルト
 ノ風評アルヲ以テ即チ本月六日所轄警察
 署ハ巡查部長ヲ派遣シ巡查村役場負
 醫師及ヒ藤井傳次郎外四名ト共ニ現場
 至リ檢視ヲ遂ケタル所死体ハ元ソ四五拾日
 經過シタルモノト見ハ着衣ハ表黒綾羅紗
 裏澤江帶子ノフロツクミートノ上衣但黒包

第九四門

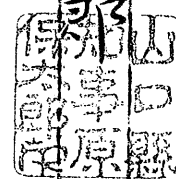
釦五個ノ付着セシ今一枚茶白紐ノ縞羅紗
 スホン但白角釦ノ付着アルヲ着ニ下着ハ表
 黒綾羅紗裏ハ縞アヤネルノチヨツキ但黒包
 釦ノ付着一枚、白色、毛メリヤスシャツ但一
 枚ハ貝釦一枚ハチヨツキ仕立ニシテ白包釦ノ付
 着アル今二枚ヲ着シズボン下ハ白色、毛メリヤ
 スヲ着シ黒色スワツテ製衣ノ靴下長キミミ半長
 靴ヲ穿テ赤ノ地月部ヨリ腹部ハ廻シキリシ白
 布ヲ覆ヒ製造シタル袴相ノ如キ難破船ノ際要
 用ナルモノ浮器ハ個ヲ纏付シ其面部兩手ハ
 皮肉剥脱巴ニ白骨ト化シ體部兩足ハ皮
 膚腐爛シテ澎脹シ年齡凡ソ三拾七八才
 位丈々五尺五寸位ナリ又上衣ニホケツトニケ所

11/6

アリチヨツキニホケツトニテ所アリテ其チヨツキ左
ノホケツトニ銀側龍頭卷二十一ニ形ノ一〇〇也
錦アル所硝子ノ袂時計壹個ヲ藏メ右ノホケ
ツトニ支那カバンノ鍍壹個日本普通ノ鍍威
個鯨齒製ノハシノ如キモノヲ一振セシヲ
メ其他携帶品無之死体ノ形状ヲ察スルニ
右ノ官吏又ニ相席ノ身分アルモノト見認
目下捜査中ニ得共為御参考此段及御
報告也

明治廿五年六月十日

山口縣知事原保太郎



外務大臣子爵榎本武揚殿

山口縣

廿五年六月十七日

慶應義塾

警第九六號

第七四三五號

契

N
一

本月十一日附警第九四號ヲ以テ縣下大津郡
仙崎通村漂流死体之件ニ付及御報告
置候處右携帶品之内時計ニ鎖等付
着無之且ツ着衣ハフロックコート、記載セシハ
モーニングコート、誤ニ有之趣所轄警察署ヨ
リ申出候條此致及追申候也

明治二十五年六月十三日

山口縣知事原保太郎

外務大臣子爵榎本武揚殿

明治二十五年六月十三日

明治六年六月十六日

森島

第三十三回

山口縣より報告書に付衣履具他心あり
之を以て山口地方系に依り給ふ事
衣履所持品より似る品より之を以て
推察せしむる時ハ三蓋金創と蓋金
白蝶定故紙用ノ印ハ之を鑑み紙金と白金
等々合ふと云ふ事且同ノ當時持懐掛
其金創と先股助命ノ先云々船長南出
映之面會沈没ノ際ニ用ニ衣履具ノ身
等々和服着用致し給ふ事と云ふ事
及具中此也

明治五年八月七日

森島

第百一門

島村家務長殿

編纂完了

第 一 卷

明治五年六月十六日達

明治五年 六月十六日 起草
年 月 日 發遣

主任

庶務課

次官

送第二、八、九

浄書校正原

江尾治友材

台縣知事永保寺殿

以本隊友試補衣依石村永才

似有之永才之同族

明治五年六月十七日

外務省

本月十日發給牙九世年之長子永才殿下

上座新仙寺通村寺子永才殿下永才殿下

并送此印公署之月廿日發給永才殿下

永才殿下之永才殿下之永才殿下

於西宮之永才殿下之永才殿下

男子之永才殿下之永才殿下

永才殿下之永才殿下之永才殿下

永才殿下之永才殿下之永才殿下

16/6

換祝之遊々之生趣多著依所打和
昔時向東城三條^{子進}收朝^{子進}至金龍
所集^{子進}止^{子進}於沈沈^{子進}見^{子進}中
九事^{子進}有^{子進}在^{子進}試補材^{子進}外^{子進}一^{子進}送^{子進}
二^{子進}及^{子進}通^{子進}在^{子進}同^{子進}及^{子進}長^{子進}公^{子進}名^{子進}似^{子進}
三^{子進}者^{子進}之^{子進}与^{子進}所^{子進}定^{子進}之^{子進}因^{子進}了^{子進}出^{子進}於^{子進}
方^{子進}如^{子進}所^{子進}之^{子進}也^{子進}

臣等謹啓

外務省

30/6

天

次官

第三一六號

第五年七月五日

警察

政務局

警第一〇五號

本月十日附船九日午後三時下大津郡
仙崎通右方字瀬戸の片住井澤次郎
外名が安月三平、漢字が澤村少字
吉海島仲令松洋波の者、居る男子
死体漂流し居る見者、之を捕へて海
濱裏に埋葬し、之を知らせ、報告せ
し、又、此の事件、本年七月五日、連日、
郵船会社、流し出され、乗客中海軍
大尉岡文柄、死体、おぼしめ、文柄、男
関子、津田定重、居る、り、本郵船会社、
長森島、見送り、通報、する、事、は、及
び、通知、す。

明治三十四年七月三日

山形知事 原

保太郎

外務次官 井 甚 殿

24/6

出雲凡幾難者我前無不能回書

一、金四百九拾四五兩也。

4

卷之四

行法有志者我指金

金百九拾卷四卷五

卷之六

已全領還解者九十八名對平等祇職之老人公金

八四六

金四百九拾四五拾

德海書院

追テ處分集

但各處巡警局與各縣紳士等四主派行之先上於中於後統籌
他任事者尤在自新云

在朝鮮國仁川港

日本領事館

本集題名

金卷七拾四

卷之五

李永平律師事務所

余五拾四

[illegible]

卷之六

金華山記

胡蝶夫人

是書也

卷八四七

附錄

自元祐以來

合 四 七 八 九

胡蝶夫人

卷之六

金華山志

五服之期

卷之四

九月十五日 奉受 通商局

文第三九八

本年四月初朝鮮國全羅道近海ニ於テ沈没致候當社汽船出雲丸乗船者ニシテ生死不明、船客本邦人十七名朝鮮人十名清國人三名及乗組船員二十六名、為ノ同感ノ社員ト謀リ各自應分、贖金ヲ為シ之ヲ以テ其遺族ニ贈リ聊カ其不幸ヲ吊慰センコト欲シ過般未義捐金醵集中、處今般結了ノ上

聖上

皇太后兩陛下ヨリ特ニ御救恤トシテ恩賜ノ金參百圓ニ社中海陸員及社外慈善者ヨリノ義捐金五千貳百八拾貳圓四拾六錢八厘ヲ差加ヘ夫々分配計算ヲ遂ケ朝鮮人十名一名ニ付金百拾五

日本郵船會社

圓拾三錢宛清國人三名一名ニ付金百拾貳圓四拾三錢宛、割ヲ以別紙本人遺族宛書面之通義捐金贈與致度候就テハ御手数恐縮之至ニ御坐候得共該金員御省ヨリ各遺族へ御交付、上優渥ナル 帝室、思召ト社中ハ勿論江湖慈善者、哀情トヲ篤ト各遺族へ貫徹致候様可然御取計被成下度仍テ別紙本人遺族宛書面十三通及之ニ附屬、義捐金報告書十三部外ニ高覽、為ノ義捐金報告書一部相添此段奉願候也

明治二十五年十二月廿七日 日本郵船會社長

森岡昌純

外務大臣陸奥宗光殿

本文白元報告書未添添附

九月一日

郵船

追伸本文總金額千四百八拾九圓九錢八當社
在朝鮮國仁川支店へ回金し同地帝國領事館
ヨリ同支店へ御指圖次第為差出候事ニ致置候
間左様御承知置被下度候

日本郵船會社

記

一金百拾五圓拾三錢	朝鮮	鄭南玉
一金百拾五圓拾三錢	全	邊錫然
一金百拾五圓拾三錢	全	朴喜辰
一金百拾五圓拾三錢	全	金喜元
一金百拾五圓拾三錢	全	金德瑞
一金百拾五圓拾三錢	全	李明依
一金百拾五圓拾三錢	全	朴應尚
一金百拾五圓拾三錢	全	許周珍
一金百拾五圓拾三錢	全	金景昌
計金千百五拾壹圓三拾錢	全	徐基都

日本郵船會社

一金百拾貳圓六拾三錢	牟津
一金百拾貳圓六拾三錢	蘇家益
一金百拾貳圓六拾三錢	干鴻
計金參百參拾七圓八拾九錢	
總計	
金千四百八拾九圓九錢也	

二十六年一月十三日

浄書 校正 原

明治廿六年 一月 十一日起草
同 年 八月 十一日發遣

通事長



主任

通事長

日米郵船會社社長 田島 仙太郎 外務省通事長 永田 正

出雲丸船客 延後、増え金、貸付、通事

九一

六年一月十四日

外務省

昨廿五年四月 朝鮮國金剛山道 延後、増え金、貸付、通事

社説 船出雲丸、船客、延後、増え金、貸付、通事

人三名、延後、増え金、貸付、通事

又、常務大臣、延後、増え金、貸付、通事

又、交甘方面、延後、増え金、貸付、通事

左、朝鮮國、延後、増え金、貸付、通事

お、延後、増え金、貸付、通事

再回

二十六年一月九日

編纂
委員
閣下

明治廿五年十二月九日起草
同 廿六年一月七日發遣

通事長

主任

次官

明治
二十
六年

送第一 號

右任

領事代理能登五郎 外務省林董

出雲北江支那館人等之那人、贈金文方、件

廿六年一月十四日

外務省

昨 廿年四月朝鮮國全羅道 追海、於沈没、之日本郵船會

社、派北江支那館人等、之生犯不明、船客朝鮮人十名、支

那人三名、送獲、帝室、之船、恤金、并、慈善、老、前、捐

金、書、之、廿、年、月、日、於、北、江、支、那、館、人、等、之、長、老、已、名、此

事、也、經、由、人、等、要、細、心、研、究、能、事、之、送、獲、之、名、送、獲、交

付、金、可、代、之、以、其、事、也、於、北、江、支、那、館、人、等、之、長、老、已、名、此

善、集、善、起、人、等、人、送、獲、者、由、十、三、通、及、之、財、為、我

捐、金、報、告、者、於、三、部、其、隔、其、也、P、送、人、也

此本文贈与金、可成、主權、造、積、三、廿、松、林、
仁川監理署、送金、各道、種、同署、招集、貴
官、立、書、之、文、之、方、方、斗、斗、而、部、令、下、得、存、尤
在、送、積、ノ、中、等、山、に、於、て、文、其、方、便、宜、ノ、分、に、室、四、能
銀、一、正、轉、属、あ、る、故、如、中、活、也

外務省

廿六年二月十三日 通商局

公外二八号

文第一三五八號

生雲丸形宛朝鮮人及支那人、贈與金交付方、數計
 日本郵船社長林同昌純就著字義、我捐金報告
 書、十二部、及在送、送書、面十二部、送、一月、七、日、送、
 外、一、部、以、一、部、送、了、表、附、在、通、道、者、朝鮮人
 十名、及、朴、在、辰、名、主、要、供、信、告、モノ、ナ、リ、其、他、郵
 南、主、金、融、珍、金、聖、殿、李明、依、許、因、珍、金、京、易、六、名
 ハ、金、山、介、信、真、錫、然、朴、齊、南、市、中、韓、基、都、元
 山、地方、信、辰、モノ、有、三、部、付、送、金、額、日、本、郵、船、社、仁
 川、支、店、に、送、付、上、前、述、報、告、書、及、書、面、在、送、金、
 山、銀、行、及、市、場、元、山、各、銀、行、村、送、附、し、去、附、付
 方、依、預、貯、金、古、道、に、送、附、兵、兵、中、者、領、收、証、取、據
 一、番、印、を、付、し、通、知、時、文、通、道、者、以、一、部、送、了、去、
 在、朝鮮、國、仁、川、港
 日本領事館
 公、文、贈、與、金、下、直、接、送、附、二、部、付、送、計、金、付、三、
 三、部、送、附、山、崎、書、池、生、モノ、有、三、部、送、附、金、額、長、
 付、金、額、有、三、部、送、附、金、額、取、付、ハ、一、部、付、金、額、長、
 附、限、捐、募、大、義、捐、金、者、地、に、於、て、配、付、節、々、他、に、散
 乱、セ、リ、丈、年、段、以、ラ、送、附、二、部、付、送、金、額、共、
 金、多、額、充、テ、ナ、リ、市、場、御、林、辰、金、主、要、供、信、告、
 數、二、部、海、南、モ、中、途、に、耗、消、カ、カ、タ、リ、三、部、送、附、金、額、
 在、附、金、額、二、部、付、送、了、金、額、共、充、テ、支、那人、年、俸、以、ト
 三名、ノ、分、に、在、送、附、清、國、理、事、公、文、以、ラ、配、付、金、額、五、部、
 附、金、付、右、送、附、一、部、し、山、東、省、信、辰、モノ、有、三、部、同、理
 事、以、ラ、華、南、北、封、閉、等、事、以、ラ、直、接、各、送、附、金、額、者、地、
 招、集、シ、テ、支、領、附、金、額、共、三、部、付、送、了、金、額、共、支、那人、送、附、
 金、中、に、帰、ル、候、附、付、金、額、共、三、部、送、附、金、額、共、
 支、那人、送、附、金、額、共、三、部、送、附、金、額、共、

九一

關係書類添

明治廿二年二月
在 領事館
能 辰五郎

外務大臣 林 董 殿

在朝鮮國仁川港

日本領事館

二十六年二月十七日

明治廿六年 二月十六日起草 式所
同 年 二月 十七日發遣

主任

通事長

原敬

第五十三號

日本郵船社長 森田 武雄 外務省長 原 敬
御 達 せ 願 儀

出雲丸船客 朝野 人并支那人道族、贈獎金交付方

外務省

出雲丸船客 朝野 人并支那人道族、贈獎金交付方

御 達 せ 願 儀

御 達 せ 願 儀

別紙 交付 金 交付 方

九一七

廿六年二月廿四日接受

主管通商局

原封

受第二二三三番

拜啓者、當社難破汽船出雲丸乗客朝鮮人
并支那人遺族、贈與金御交付方御手数奉
願候處早速在仁川領事、御轉送被下殊ニ
該金直接不當、遺族、御渡方、御配意被
成下矣趣ニ今般御交付、手續等委細仁川領
事代理能勢辰五郎殿ヨリ御本省、御上申書写
ヲ以御通示被成下萬端御面倒、段深謝、至ニ
奉存候何卒御序、前能勢領事代理殿、モ
宜敷御致声奉願候右一應、御挨拶申上度如
此御坐候敬具

日本郵船會社社長

森岡昌純

日本郵船會社
森岡昌純

明治二十六年二月廿三日

外務省通商局長原敬殿

日本郵船會社

郵船
出雲丸

十四
九一

明治廿五年 二月 廿九日起草
同 廿五年 一月 廿日發遣

同廿年

月
之
日
發
遣

通志

主 任

次官

送第

辨

杜壽 懷德堂

杉村濤敏

北平陸雲字少

出雲元曾難航航朝野人贈与金交付依統理

獨門造方件

佛六經一月十四日

外務省

昨
春四月 朝鮮國全羅道 追海_ミ於_ミ決_ミ設_ミ 日本郵船

會社汽船出雲丸乗_ル者_ニシテ生死不明ノ_ハ船客胡縣人十名

帝室所救恤金并慈善署二共捐金書文

付方 紙幣通全邦社会長森岡昌氏出版

之書
今便在仁川總領事代理、所交財物亦取中知

抄遺書
 以告黃官
 經理
 門
 少全
 可
 所
 通
 牌

板市站 站名

分請 立月十九日 即於營中 設法 預備 矣

